

保護者様

我孫子市立根戸小学校  
校長 角倉 千津子

## 令和4年度 学校教育活動(児童・保護者・教職員)アンケート集計結果のお知らせ

向春の候、皆様には益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、1月に実施した教育活動アンケート(児童・保護者・教職員)の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。また、自由記述欄には温かい感謝の言葉をたくさんいただき、今後の励みとなりました。一方で、具体的なご意見やご要望等も数多くいただきましたので、今後の学校運営の参考にさせていただきます。

なお、今年度から学校運営協議会制度が本格実施となり、学校評価についても協議を行いながら各項目を作成しました。また、昨年に引き続き児童、教職員はタブレット等を使用しての回答、保護者は家庭でインターネットを使用しての回答として実施しました。

## 各アンケート集計結果の分析

各項目の分析については、「あてはまる・概ねあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない」の4つの観点のうち「あてはまる」と「概ね～」の合計値の割合(%)として記載し分析しました。

## 1 小中一貫教育について

	児童	保護者	教職員
①久寺家中学校区では小中一貫教育の充実に努めている。	/	79	91

我孫子市では、小学校を軸に幼稚園、保育園、中学校とのつながりをスムーズに行い、中学校区で「育てたい15歳の児童像」に向け幼保小・小中一貫教育を行っています。教職員は、小中一貫カリキュラムのAbiカリキュラムを実施し、授業研究も行っているため、割合が高く表れていると思います。しかし、保護者に向けては、幼保小・小中一貫教育の周知が十分ではなかったためアンケート結果に大きな開きがありました。そこで、根戸小学校では、幼保小・小中一貫カリキュラムのお知らせを作成しました。家庭配付とともに中央昇降口の掲示板にも掲載しましたので、引き続き、保護者、児童へ説明し、効果的に活動できるようにしていきます。

## 2 学校生活全般について

※実際のアンケートでは、対象者に向けて言葉を変更しています。

	児童	保護者	教職員
①学校教育目標を知っている。	85	67	100
②子どもは、楽しく学校へ通っている	92	94	100
③子どもは、意欲的に学習し内容を身につけている	90	86	97
④自分や相手に思いやりを持つ心が育まれている	91	95	97
⑤子どもは、学校行事や体験的な活動に積極的に取り組んでいる	87	96	94
⑥子どもは、家庭や地域の中で進んで挨拶をしている	89	75	94
⑦子どもは、タブレットなど、ICT機器を使った学習を行っている	85	79	76
⑧子どもは、きまりやルールを守ろうとする意識が育っている	95	96	94
⑨学校は、子どもの心身の健康や学習、子育てについて保護者が相談できる機会を設けている	90	82	94
⑩学校は、子どもの悩みや相談に親身に対応し、いじめ防止に努めている	86	87	100
⑪学校は、熱心に授業に取り組み、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導をしている	95	82	100
⑫学校は、教育活動の内容や児童の様子について学校便りやホームページ等で伝える努力をしている	81	82	91

⑬学校は、安心、安全について積極的に取り組んでいる	95	92	100
⑭学校、地域、保護者が連携して子どもを育てようとする見守り活動をしている	95	91	94

## ①学校教育目標を知っている

学校目標については、「よく遊び、よく学び、思いやりのある子」という文言をアンケート項目の中に入れずに「学校教育目標を知っているか」という質問のみで実施しました。そのため、聞けば思い出すという方が結果に表れなかったのだと考えます。保護者の方にしっかりと学校教育目標が浸透していただけるよう、学校便りにも載せながら、周知していきたいと思っております。

## ③子どもは、意欲的に学習し内容を身につけている

基礎学力について、児童、保護者、教職員の間で、かなり認識のずれがあります。6年生の全国学力学習状況調査においては全国平均を上回っています。新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、できる限りの行事や体験活動を実施してきました。体験活動は人間関係や学力の礎となるものであると考えて、引き続き事前・事後の学習を充実させ、生きる力の育成に努めていきます。

## ④自分や相手に思いやりを持つ心が育まれている

本年度、学校教育目標の中の「思いやりのある子」について普段の学級経営や行事について重点を置いて教育活動を実施してまいりました。児童、保護者、教職員ともに90%以上の結果がでたことは嬉しく思います。

## ⑥家庭や地域の中で進んで挨拶している

挨拶については児童・保護者・教職員の間で、大きく認識のずれがあります。児童は、「あいさつは大切」という意識はあるのだと感じます。日常生活の中で児童自身が挨拶をする人に気づけたときはあいさつしていますが、無意識に挨拶していないことがあるようです。挨拶を意識するとともに、挨拶をして心も相手に向けていこうという意識も伝えていきたいと思っております。また、教職員一同挨拶のモデルとなるように引き続き意識して取り組んでまいります。

## ⑧子どもは、きまりやルールを守ろうとする意識が育っている

児童、保護者、教職員のいずれも高い水準の割合です。根戸小学校の児童は、きまりやルールを守り落ち着いて生活しています。委員会活動でも、くつ箱の靴をそろえる「ぴかぴか靴箱」というコーナーを設けて、全校児童が意識を高めています。小さいことでも、みんなで守っていくことが、落ち着いて生活することにつながるので、きまりやルールを守ることの大切さを感じていけるよう声をかけてまいります。

## ⑩学校は、熱心に授業に取り組み、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導をしている

きめ細やかな指導について、児童と教職員がよく関わっていることがうかがえます。しかし、コロナ禍の折り、保護者が児童の学習を参観する機会や保護者と教職員が直接懇談会で会話を交わす場面がここ数年減少していました。そのため、保護者には学校の様子が上手く伝わっていないことがあるので、保護者からも気軽に相談できるようにするため、学校の様子を伝える努力が必要だと考えます。また、オンライン授業等を効果的に実施しつつも、授業参観や懇談会などでは、直接見たり聞いたり相談したりする機会を大切にしながら、これからの教育活動を検討してまいります。

## 【終わりに】

コロナ禍で様々な学習に制限がかかっていましたが、次第に制限も緩和され、十分とは言えませんが少しずつ体験活動が増えてきました。また、国を挙げての施策であるギガスクール構想で一人一台タブレットの運用が開始されるなか、学校教育活動に大きな変化があった1年でした。価値観が多様化している今日、コロナ禍における学校教育活動にも様々なお考えがある中、保護者の方の自由記述の要望も千差万別にありました。教職員に対しては、数々のご指摘をいただいた一方、励ましのお言葉もいただいたことは、児童にとってできる限りの教育活動を行うために試行錯誤している教職員にとって、大変励みになりました。いただいたご意見を真摯に受け止めて子どもたち良き成長のために、努力してまいります。また、児童の教育活動をご覧いただく機会や、保護者と担任が子どもたちの成長について、直接コミュニケーションが取れる機会を作りたいと考えています。今回の学校評価を礎に更に努力していきたく思います。保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。